



令和7年・・・・・3月号

ようげいぼしじちかい

陽迎橋自治会だより NO. 139

令和6年度(2024年度)も残すところ「ひと月」となりました。この1年間、地域の皆様には大変お世話になりました

陽迎橋自治会は次年度(令和7年度)に向けてさらにパワーアップし、よいよい地域づくりに邁進してまいります



陽迎橋の子どもの居場所「みんなおいでよ 陽迎橋」で、地域の子どもを日々サポートする琉球大学・沖縄国際大学の学生の皆さんと自治会事務の皆さんの新年交流会の様です。年度末を迎え、4年生は就職や大学院進学等それぞれの道に飛躍していきます。そして、子どもの居場所のサポートは20人以上の後輩に引き継がれます。更に4月には新入生も加わり一層にぎやかな居場所となります。現在、子どもの居場所（開所日は・平日の午後3時～6時）には、毎回30人以上の子どもたちが来所しています。

住み慣れた地域で

いつまでも普通に暮らせる 地域を目指して

浦添市チャレンジライフ90

～自分を変える90日間の挑戦～

浦添市の高齢者支援が変わります。浦添市の高齢者支援は「住み慣れた地域でいつまでも普通に暮らせる幸せの提供」を目標に「短期集中サービスC事業」を中心としたサービス体系が変わります。介護サービス等の支援が一度必要になった人でも「元の生活に戻る」ことを目指す仕組みです。陽迎橋地域では、浦添市・包括支援センター（ゆいまーる）・かりゆしセンター・浦添市社会福祉協議会そして陽迎橋自治会等が連携してチャレンジライフ90を実現していきます。実施期間は3か月間、足腰が弱って外出が難しくなった方、骨折後歩く力が落ちてしまった方、膝や腰・股関節の手術を受けて間もない方など要支援認定者や65歳以上の事業が必要な方が対象です。かりゆしセンターの集会所は令和7年度より毎週木曜日の午前中・実施場所として活用されます。



（浦添市かりゆしセンター 令和7年新春囲碁大会 令和7年1月25日）

かりゆしセンターは浦添市の「中高齢者の健康増進や生きがいづくりを目的とした総合福祉施設」です。介護予防のためのトレーニング・マッサージ機器を揃え、また趣味につながる各種講座の企画・サークル活動の場を提供しています。浦添市内に在住・在勤の40歳以上の方ならどなたでも利用可能です。ぜひご利用下さい。

太陽クラブの新年会（陽迎橋自治会の老人会です）

これまでの月一回の定例会から、令和6年度は包括支援センターゆいま〜るさんの支援で月一回のゆんたく会も開催、更に今年からは毎週のように企画が行われています。地域の年配の皆さんの居場所がどんどん広がっています。



～自分を変える90日間の挑戦～ 利用開始までの流れ

①相談窓口 包括支援センター・浦添市いきいき高齢支援課において、生活での困りごとや身体の状態を詳しくお聞きしたうえで、地域包括支援センターと早期に関わる体制を構築し、必要な方へ適切な支援を行います。（介護が必要な人はこれまでどおりの介護サービスを利用いただきます）

②アセスメント訪問 介護サービスのプロであるケアマネジャー等とリハビリ専門職が自宅を訪問し、生活の様子や身体の状態を確認。元の生活を確認。「元の生活を取り戻すため」の適切な目標を提案します。

③短期集中サービスC通所サービス

～一人ひとりに合わせたサービス～ サービス利用日以外の自宅での過ごし方と、現状の課題や今後の目標を話し合う面談を中心とした3か月間のサービスです。アセスメントで設定した目標を達成し、サービス終了後「元の生活に戻る」ことを目的にしています。短期間で機能・自信を回復し地域へ

④地域とのつながいの場～やりたいことを自分でえらぶ～ 高齢者の生きがいと健康維持のため、社会参加の場を整備し、すべての高齢者が「お互いに支え合うことができる」仕組みを構築しています。地域活動やスポーツ、ボランティアや就労等、好きなことを自分で選択し、自信を持って地域で生活してもらいます。

頑張れウォーカーの皆さん

2025. 2. 15 てだこウォーク

陽迎橋自治会の支援・おもてなし



2月15日（土）、今年もてだこウォークが開催され、陽迎橋自治会では波平正税理士事務所の駐車場をお借りし、おもてなしの給水・バナナ等の提供を行いました。約600人の20キロコースの参加の皆さんに大好評で、ドリンク・バナナ・おいなり・クロワッサン等のすべてが参加者にふるまわれました。おもてなしの準備から片付けまでご支援いただいた地域の皆さん・小学生・大学生の皆さん、ありがとうございました。毎回のことですが、おもてなしの場所をこころよく提供いただいた波平正税理士他事務所の皆さま、ありがとうございました。